

目次

目次.....	1
本ドキュメントの内容.....	1
Cisco DCNM ソフトウェア リリースのタイプ.....	1
長期リリースについて.....	2
Cisco DCNM ソフトウェア リリースのライフサイクル.....	2
要約.....	4
詳細情報.....	4

本ドキュメントの内容

ミッションクリティカルなネットワークの整合性と安定性を維持し、マルチレイヤインテリジェンスを使用して高度なネットワーク機能をタイムリーに提供するという市場のニーズに対応する柔軟性を備えた、包括的な Cisco DCNM ソフトウェア リリース手法が開発されています。

このソフトウェア ライフサイクルサポート ステートメントは、Cisco DCNM ソフトウェアのリリース方法を理解するためのガイドです。リリースのタイプ、その機能、およびさまざまなシナリオでのライフサイクルについて説明します。また、Cisco DCNM ソフトウェアのリリースとイメージの命名規則についても説明します。

Cisco DCNM ソフトウェア リリースのタイプ

表 1 に、Cisco DCNM ソフトウェア リリースのバリエーションを示します。メジャーリリース、フィーチャリリース、マイナーリリースまたはメンテナンスリリースです。

表 1 : Cisco DCNM ソフトウェアのリリース タイプ

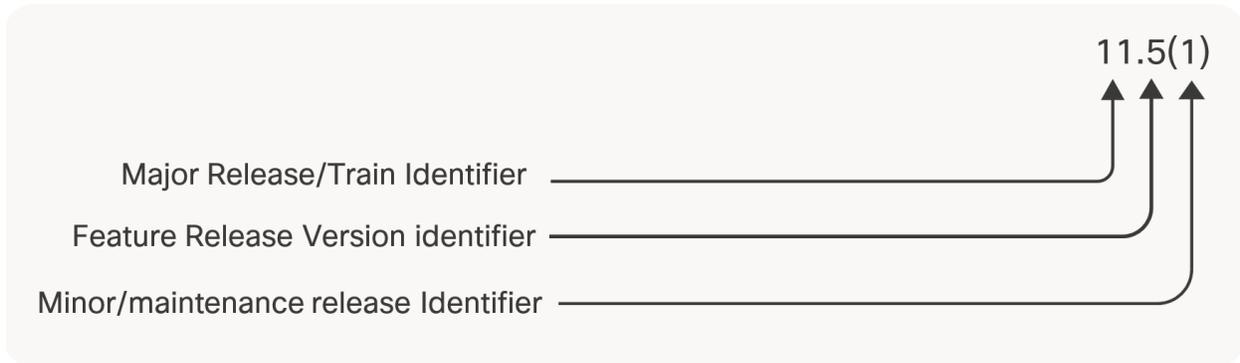
Cisco DCNM ソフトウェアのリリースタイプ	説明
メジャーリリース	メジャーリリースは、すべてのフィーチャリリースで構成されるスーパーセット トレインと見なされます。その他の重要性では、メジャーリリースの番号を増やす必要がある場合があります。 例: リリース 11。

フィーチャリリース	フィーチャーリリースでは、ハードウェアプラットフォームの重要な新しいフィーチャ、機能、および/またはサポートが導入されます。各メジャーリリースは、複数のフィーチャリリースで構成されています。 例: リリース 11.4(*), リリース 11.5(*) など
マイナーまたはメンテナンスリリース	マイナー/メンテナンスリリースは、主に製品の欠陥を解決し、機能リリースの整合性と安定性を維持します。これらは必要に応じて提供されます。 例: リリース 11.2(1) および 11.2(2)。

各 Cisco DCNM ソフトウェアリリースには XY(z) という一意の番号が付けられます。X はメジャーリリースまたはトレイン、Y はメジャーリリース X を拡張するメジャートレインフィーチャリリースバージョン、z はフィーチャリリース Y の製品の不具合に対処するマイナー/メンテナンスリリースです。

図 1 は、Cisco DCNM ソフトウェアリリースの図です。

図 1 : Cisco DCNM ソフトウェアリリースの例 11.5(1)



長期リリースについて

各 Cisco DCNM メジャーリリースまたはトレインには、1つの長期リリースがあります。

長期的なリリースは、強化され、成熟する候補であり、品質と安定性が長期的なリリースとして選択されることを確実にするのに役立つソフトウェア機能リリースです。各メジャーリリースには1つの長期リリースがあり、他のリリースよりも長期間維持されます。長期リリースが確立された後は、メジャーリリーストレインに追加される他のフィーチャリリースはありません。長期リリースは、長期間にわたる展開と頻繁にアップグレードされないネットワークに推奨されます。

Cisco DCNM ソフトウェア リリースのライフサイクル

メジャーリリースのライフサイクルは、いくつかのフィーチャリリースにまたがります。

図 2 は、DCNM バージョン 11.x の例に基づくメジャーリリースのライフサイクルを示しています。

図 2 DCNM メジャーソフトウェアリリースのライフサイクル/DCNM 11.x のトレーニング



メジャーリリースのライフサイクルは、最初のフィーチャリリースの **first customer shipment (FCS; お客様向け出荷開始)** (FCS) から始まります。これは、収益のために顧客にソフトウェアリリースを最初に出荷した日付を表します。

メジャーリリースは次のフェーズに入り、他のいくつかのフィーチャリリースが FCS であり、他の機能、機能強化、および製品の欠陥に対処します。

メジャーリリーストレインで導入された機能は幅広い採用と安定性を実現するため、そのメジャーリリーストレインのフィーチャリリースは長期的なリリースとして選択されます。現段階では、メジャーリリースは、さまざまな展開シナリオでの広範な市場露出で証明されており、品質、安定性、および問題の傾向を分析する厳密な指標に合格しています。長期リリースが FCS になると、メジャーリリースには追加の機能リリースがなくなります。このフェーズでは、リリースは必要に応じてメンテナンスリリースを受け取ります。セキュリティ修正とパッチはケースバイケースで提供されます。内部で見つかった問題も、その問題に基づいて評価され、対処されます。長期リリースは、メンテナンスのみのリリースのこのフェーズに 2 年間留まり、その後、長期リリースはサポートが終了します。長期リリースのサポート終了のマイルストーンを発表する際、お客様が移行する別の長期リリースが特定されます。

メジャーリリーストレインの長期リリースが発表されると、次のメジャーリリーストレインのライフサイクルが次のリリースに向けて開始されます。

メジャーリリーストレインに含まれる他の非長期機能リリースは、長期リリースが発表されてから約 1 年後にサポートが終了します。正式なサポート終了の発表は一般的に遅れており、このドキュメントは、最新のライフサイクル管理タイムラインを取得するためのソフトウェアリリースサイクル計画に使用する必要があります。

原則として、シスコは、製品の販売終了日および発注可能最終日（あるいは、そのどちらか）の 6 ヶ月前に通知を行います。ソフトウェアリリースは引き続き www.cisco.com から入手でき、販売終了日までシスコによって完全にサポートされます。

販売終了のマイルストーンの後（通常は 1 年後）、リリースはソフトウェア保守終了ステータスを達成します。これは、保守ソフトウェアがリリースされる可能性のある最後の日付を表します。エンジニアリングは、リリースに欠陥の修復を積極的に適用しません。ソフトウェアの欠陥は、後続のリリースにアップグレードすることで対処されます。脆弱性/セキュリティサポートの終了は、SW メンテナンスリリースの終了と同時に行われます。これは、シスコエンジニアリングが脆弱性またはセキュリティの問題に対するバグ修正または PSIRT 修正をリリースする可能性がある最後の日です。この日以降、特定された脆弱性およびセキュリティの問題のバグ修正または PSIRT は、サポートされている今後のソフトウェアリリースで実行される場合があります。

最終的に、リリースはサポート終了ステータスに達し、ソフトウェアイメージはシスコによるサポートが終了し、Cisco.com から削除されます。

要約

Cisco DCNM ケイデンス ベースのソフトウェア リリース 方法論は、お客様のミッションクリティカルなネットワークの整合性、安定性、および品質を維持します。革新的な機能をタイムリーに提供するという市場のニーズに柔軟に対応できます。リリース方法の主な属性には、次のものがあります。

- メジャー リリースでは、機能リリースを通じて重要な新機能、機能、およびプラットフォームが導入されます。
- 機能のリリースは、既存のメジャー リリースの機能を追加および強化します。
- マイナー/メンテナンス リリースは、必要に応じて機能リリースの製品欠陥に対処します。

詳細情報

Cisco DCNM 製品ラインの詳細については、

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/cloud-systems-management/network-services-orchestrator/index.html> のページにアクセスするか、ローカルのシスコ アカウント マネージャーに問い合わせてください。

シスコのサービスおよびサポート プログラムと特典については、

https://www.cisco.com/c/m/en_us/customer-experience/support/software-support-service-swss.html のページにアクセスしてください。

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。